

回				
覧				

- ・事務や管理担当が忙しい原因は、グロービアとリシテアだ。

人事評価制度について

- ・7級だが、人事評価の試行で評価結果が知らされていない。
- ・人事評価システム自体の評価が必要。なぜ、他所で駄目だと分かった制度を入れるのか。
- ・効率的に人を動かす研究が足りない。

臨時職員について

- ・臨時職員は、仕事が遅くなっても超勤手当がつかない一方で、遅刻すると報酬をカットする。どういう考えか？
- ・臨時職員の人たちの雇用の継続について、やめさせられたりしないよう、今後も労組として取り組む必要がある。

定年後継続雇用・退職金について

- ・退職後の常勤、非常勤の選択問題だが、職員の中には1年目から非常勤を希望する人もいるはず。1年目から本人の希望に沿って選択できるようにした方が良いのでは。
- ・機構の退職金は、他の法人と比べて高いか、あるいは低いのか？

旧サイクル機構との統合等に関することについて

- ・原子力ユニオンから脱退し、原研労組に加入した方が増えるのは、原研労組の成果である。原子力ユニオンから原研労組に入った方に対しては、是非フォローをしてあげるべき。
- ・原子力ユニオンを脱退して原研労組に入った人は、職場での不利益はないのか？
- ・旧サイクル機構で長年にわたり3級、4級に据え置かれていた職員が5級に上がったのはいいが、監督者研修などはきちんと受けさせてもらっているのか。
- ・原燃への移籍で退職金がお手盛りとなるのは、旧サイクル機構の人だけ。
- ・統合したのを元通り分割して欲しい。原研の名前を返して欲しい。
- ・動燃のやり方は失敗したのに反省せず、原研も巻き込んでいる。
- ・もんじゅは、役人がとにかく1サイクル動かしたいらしい。もんじゅが事故になると「機構はいらぬ」となり、こちらまで倒れてしまう。
- ・旧サイクル機構の事業所への入構手続きは、身分証明書提示でOK とすべきではないか。信頼関係がなければ仕事は成り立たない。

本日、臨時大会開催！！

本日3月7日(金)、原研労組は第94回臨時大会を開催します。臨時大会では、第59期の運動の中間総括と春闘方針について議論を行います。原研が原子力機構になって2年半が経ち、職場で様々な問題が噴出している今、各現場の組合員の声を持ち寄り、より安心して生き生きと働ける職場となるよう機構に求めていきましょう。

第94回原研労組臨時大会

大会期日：2008年3月7日(金) 13:00から17:00

開催場所：村松コミュニティセンター(東海村) 2階 会議室

議題：第1号議案 第59期、運動の中間総括と春闘方針

第2号議案 ストライキ権の集約

< 分会で出された意見から (その2) >

賃金について

- ・昇給月を7月でなく10月にした狙いは何か。人事評価がまともにできないからか。
- ・昇級昇格を7月にしたのは旧サイクル機構側の都合か。電力は7月である。
- ・昇給月を10月にすることにより、それまでの半年分の人件費を浮かそうとしているのではないか。
- ・55歳以上は2号昇給になるといっても、給与構造改革の調整額が減っていただけなので、実質的には賃金アップはない。
- ・最近また公務員の賃金に対する攻撃が行われようとしている。3年くらい前にも公務員に対する攻撃があり、それが後になって原子力機構の本給表の切り下げにつながった。公務員が攻撃されているときにボーッとしていたせいである。今度こそ気をつける必要がある。

人員不足、過重労働について

- ・人員が不足で夜中2時、3時まで装置の調整をし、朝9時には出勤ということが結構ある。なんとかやっているが、連続運転などになるととてももたない。
- ・忙しくてやむを得ず休日出勤する。そうしたら超勤でなく代休を取れと言われる。忙しいから休日出勤しているのに、代休を取れるはずが無い。

「住宅二重貸与」について

- ・ 単身赴任者が赴任先で、自分でアパートを借りれば「二重」にはならないのに、それも駄目だというのはしっちゃかめっちゃかだ。
- ・ こんなめちゃくちゃなことが、いい加減な文書でやられているのか。
- ・ 家族はついて行けということか。子どもの学校や配偶者の仕事もあるので、そういう訳には行かないこともある。
- ・ 住宅はそんなに足りないのか。
- ・ 旧サイクル機構職員の共働き率は非常に低い。保育所で、サイクル機構職員の子どもはほんの少ししかない。原研の常識とは全く違う。

渋滞などについて

- ・ 時差出勤できると渋滞が解消されるのに。
- ・ 原科研では渋滞が増えているので、南門・北門をもっと早く開けるようにしてほしい。南門と業者門の動線も良くない。どちらからも入れるようにすべき。
- ・ 使用する道路の制限について、機構は、違反したらステッカーを剥奪すると言っていたが、実際に剥奪された人はいるのか？出勤時間帯が混むことは、住民の人にも迷惑をかけている。また入構の邪魔になる障害物はいつになったら撤去されるのか。

職場のあり方などについて

- ・ 最近、機構の「一方通知 実施」のパターンが多い。民主的な運営を求める。
- ・ 職場の意見を吸い上げるシステムがないのが問題である。
- ・ 研究者の自治が大事であり、職場をどうするか考えるべき。
- ・ 人権教育がなっていない。
- ・ 国は「原子力研究」はやらないというつもりでは、今は金を減らせというばかり。
- ・ 服務管理システムが急に導入されたように感じる。労組として同意したのか？（労組注：労組では試行の状況を見ていきたいという立場です。問題があれば改善の要求をしていきますので、労組まで意見をお寄せ下さい。）
- ・ 旧サイクル機構の人と研修で一緒になったが、「人事評価制度や KY などは、直ぐ形骸化するから大丈夫。そんなことでうまくいくはずがない」と言っていた。
- ・ 安全管理の部門が、横流しで仕事を要求してくる。なんとかならないか。
- ・ 一般競争入札はだめ。原子力の特殊事情を考える必要がある。信頼性のないものを作ってしまうと、かえって高くつく。他所のひどい独法と一緒にされたくない。
- ・ アンチスパムシステムに文句を言っている人はいないのか。出張中にメールが消えてしまったことや、他の人が削除したら自分も見られなくなってしまったことがあった。

- ・ 海外から来て機構に滞在している研究者がネットを使おうとすると、手続きが大変で制約となるので評判が悪い。情報は、PP 関係など必要なところだけクローズすればよい。
- ・ 研究環境整備の一環として、研究機関にふさわしい情報運用のあり方を検討すべき。
- ・ 育児休業は、共働きでないととれないようでは意味がない（兄弟姉妹の世話もあるので）。
- ・ 原科研の管理区域外汚染に関して、最近、当時の所長等に処分が出たが、報道以上の情報はあるのか。（労組注：報道以上の情報はありません。現場の職員を処分したという話は聞いていませんが、そのようなことがあれば、労組として対処します。）
- ・ 交通費で、ガソリン代が高騰しているのだから、値上げはできないのか。

組合のあり方などについて

- ・ 公開メディアであるあゆみ速報に出せないことがあるのも分かるが、これから組合に入ろうとする人に伝わらない。どうアピールするか考える必要がある。
- ・ 昇給制度の改善は、正に労組があったからこそであり、もっとアピールすべき。
- ・ 組織拡大は、組合に入るメリットをいかにアピールできるかだ。
- ・ 大洗地区では、原子力ユニオンのビラがイントラに掲載されていた。原子力ユニオンと均等な便宜供与を求め、原研労組のビラもイントラ掲載を申し入れたが、機構側は急に原子力ユニオンのビラのイントラ掲載を中止した。原研労組のビラのイントラ掲載を阻止するためである。しかし、原科研では原子力ユニオンのビラのイントラ掲載を続けている。大洗地区では駄目で、原科研は良いとの論理は破綻していないか。原科研でも大洗地区と同じく、原子力ユニオンのビラのイントラ掲載を中止すべきだ。

その他

- ・ 東海村須和間地区の産廃処分場計画について、村長・村議会が全員反対しているのに県はゴーサインを出した。住宅なども近いので機構にも関係のある人は多いが、身近なのに情報がなく知らないところで進められている。労組としてどう関わるかは別にしても、気にとめていくべき問題である。

前号の「あゆみ速報」で、奨学金の返還に関する記述がありましたが、奨学金の返還制度が近年大きく変わっているため、記述内容に不正確なところがありました。次号に改めて説明を掲載します。